

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「ご入居者は人生の大先輩です。」という理念は日々の支援に活かされているが、職員は文章として諳んじることができない。むしろ法人の理念は浸透している。理念とは、その施設の根幹となるものにて、周知や浸透の方法を工夫する事。	一人一人が理念を理解しサービス提供に繋げる。	朝の申し送り時に唱和して、周知、浸透する。	6ヶ月
2	13	地震発生時の救出訓練や避難訓練は行われているが、防災計画が作成されていない。今後は、防災計画やマニュアル(手順)を作成し、それに基づいて訓練を行う事を期待したい。また、運営推進会議において、消防署も参加した避難訓練を実施している。今後は、活動を通して、地域との協力体制を少しずつ確立する事。	①防災計画・マニュアルの整備。 ②地域との協力体制の確立。	①グループ全体の防災委員会にて協議し作成する。 ②自治会に了承を得たうえで、自治会の回覧にGHの情報を載せ、施設への理解と協力をお願いする。	12ヶ月